

子供の不安をやわらげるためにできること

子供が説明上手になるように・・・

習志野市総合教育センター

子供の様々な変化に不安を抱える保護者の皆様へ・・・

子供が一生懸命話をしているのに『それって何が言いたいのか?』『全然状況がつかめない』等、戸惑ってしまうことはありませんか?小学生の段階で、状況を上手に説明できる子供はなかなかいません。今回は『説明上手』を目指す話です。

★子供はなぜ説明が下手なのか・・・

・「バトルしてドラゴンをバツとやったら A 君がキングでバツとやってきたから、僕がダメって言ったらケンカになった」この話の意味が解りますか?この話は「(僕が A 君とカードゲームで)バトルして(僕が)ドラゴン(のカード)をバツとやったら(出したら)A 君がキングでバツとやってきた(カードを出した)から、僕が(ルール違反だから)ダメって言ったら、(A 君が、違反じゃないと言って)ケンカになった」という意味です。子供の説明は()の内容が省略されたり擬音になったりします。そこで、大人は子供の説明を聞きながら()の部分聞き返して、本人に足りないところを意識させる必要があります。

☆聞き直して説明不足の部分を言い直させてみる

・子供が自分の言葉で状況を整理できるように、「A 君と何をしたの?」

「バツとなにをやるの?」「何がダメなの?」等聞いてみましょう。

言い直させる際は、保護者が言い方のお手本を示して言い直させてみることも良いです。その際、大切なことは『だれが』『だれに』『なにを』『どうしたの』等を子供が意識できるようにする事です。



☆書かせてみる

・子供が説明に困ったら書かせる方法もあります。『書く』という作業は、説明するイメージを整理するのに有効です。特に、会話の中で省略されがちな主語が現れるのでわかりやすくなります。書くことが苦手、という子供には『いつ』『どこで』『だれが』等の内容を単語で羅列させて、一緒に文章に組みなおす事も良いです。

☆楽しく聞く、褒めながら聞く

・子供の話を聞く、言い直させる、書かせる際は「へ～そうなんだ」「ふんふん、それって何がダメなの?」等、『あなたの話に興味があるよ』という気持ちが伝わるように聞きましょう。そして、時々「すごいね!」などと言ってあげると良いです。『あなたの話が意味不明だから聞き直す』という態度が子供に伝わると、子供は『わかってくれないなら説明しない』となってしまいます。

お子様の心の変化や登校渋り等でお困りの時は、総合教育センター教育相談を御利用ください。

総合教育センター 教育相談(047-475-8341) 青少年テレホン相談(047-475-7867)